

救急搬送におけるポータブルエアロゾルシールドの開発

- ✓ 救急隊員は、新型コロナウイルス感染症患者搬送時、エアロゾル手技で暴露してしまう危険がある。
- ✓ 塩化ビニル素材を使用。バルーン構造にすることで、折りたたみが可能。エアロゾル吸引機構を設置し、エアロゾル軽減を実証実験で証明した。



挿管練習



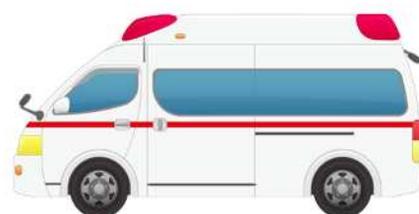
視認性も良好

エアロゾルの軽減

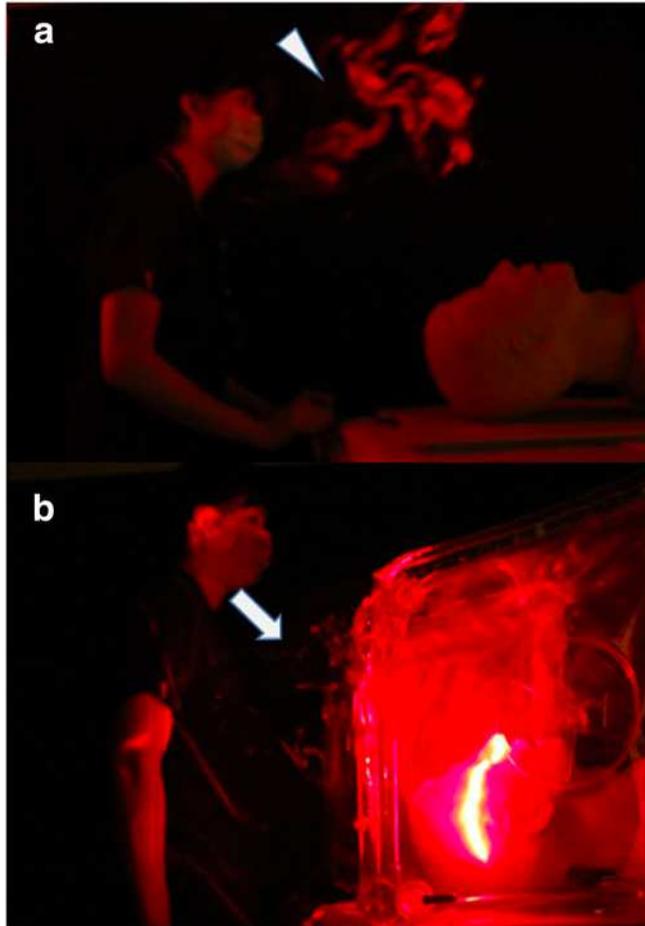
病院前救護で使用可能

コンパクトで収容可能

患者搬送時の飛沫対策



迅速な搬送、救命処置をサポート！傷病者の救命を！

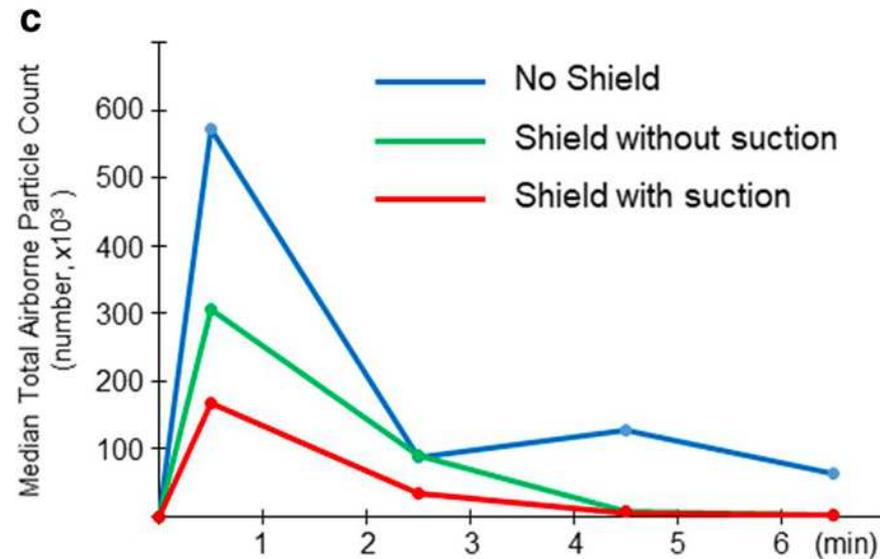


エアロゾル可視化による検証

- a. シールドなし。直接、顔面付近までエアロゾルが接触
- b. シールドあり。エアロゾルの量を軽減。

エアロゾル測定による検証

- c. シールド内のエアロゾル量。吸引機能付きで、量が少なく、減少速度が速い



現在、令和3年度消防防災科学技術研究推進制度(フェーズ3社会実装研究)に採用、進行中。

岡山大学病院救命救急災害医学科 助教 塚原紘平